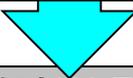


| 学校教育目標 | |
|--------|----------------------------------|
| ○かしく | 学び合いの中で、思考力・判断力・表現力を身に付け、自ら学ぶ子ども |
| ○やさしく | 規範意識が高く、相互理解に努め、人のために尽くす子ども |
| ○たくましく | 運動に親しみ、心身ともに健康で、体力・気力・意欲に充ちた子ども |

| 令和5年度学校経営方針(学力向上に関わる要点) | |
|-------------------------|---|
| ○ | 良好な人間関係(教師と子ども、子どもと子ども、教師と保護者、教職員間)を築く。 |
| ○ | すべての子どもの違いを受け止め、一人一人に行き届く対応を心がける。 |
| ○ | 主体的・対話的で深い学びの実現→学力向上 |
| ○ | 校内研究(授業改善を実現させる様々なチャレンジの機会に) |

| 指導の重点(各教科) | |
|------------|---|
| ・ | 学習指導要領及びその年間指導計画・評価計画に基づいた基礎的・基本的な内容を確実に身に付けるとともに、自ら課題を見つけて思考・判断・表現し、学び合いを生かしてよりよく問題を解決する資質や能力を育成する。 |
| ・ | 学習課題と向き合い、個でじっくりと考え、解決する主体的な学びの充実を図る。 |
| ・ | 個の考えを集団(ペア、グループ、全体)で互いに伝え合い理解を深める対話的な学びの充実を図る。そのために、相手意識、目的意識をもたせた表現活動を計画的に実践していく。また、多様な考え方を交流できる授業を設計する。 |
| ・ | 児童の実態から、特に国語では「話す力」・「聞く力」、「書く力」、算数では、「思考力」・「表現力」の育成を重点に指導の工夫を図る。 |
| ・ | 国語の「書く力」では、書く材料集めの仕方や条件に即した書き方などを身に付けられるように例の提示や表現の工夫などの指導をする。 |
| ・ | 算数の「思考力」・「表現力」では、児童の気付きや疑問を生む学習の導入を工夫したり、主体的に思考・表現する時間の確保をしたりする。 |

| 指導の重点(総合的な学習の時間) | |
|------------------|---|
| ・ | 地域の人材や施設を活用し、体験的な学習や課題解決学習の充実を図ることで、自己解決能力・自己実現能力を育成する。 |
| ・ | 各教科で身に付けた知識や技能を相互に関連付け、教科等の横断的な学習として取り組めるよう年間指導計画に基づいて指導する。 |
| ・ | 学びを深いものにするために、異学年などへの発表活動を取り入れ、相手を意識させることで主体的・協働的な課題設定力・課題解決力を高められるようにする。 |
| ・ | 学習のまとめを新聞やプレゼンテーション形式など様々な形で行うことで表現力を育成する。 |



| 授業改善に向けた具体的方策 | | |
|--|--|--|
| 基礎的・基本的な学習内容の定着 | 発展的な学習 | 指導と評価の一体化 |
| <ul style="list-style-type: none"> デジタルドリルを活用し、繰り返し問題に取り組み、学習内容の定着を図る。 休み時間や夏季休業などにおける個別の補充学習の充実を図る。 算数科を中心に授業における全体指導・個別指導の充実を図るため任期付短時間勤務教員の T・T として活用する。 | <ul style="list-style-type: none"> 基礎的・基本的な内容を基にして、広げたり深めたり進めたりできるような授業を計画する。 児童の定着度を事前・中間・事後で把握し、指導に軽重をつけるようにする。 児童の理解度や進度に応じて、発展問題を与えられるようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> 年間指導計画・評価計画の活用、修正を図る。 発言、ノート等の行動観察評価を基にした学びの状況把握と指導法の改善に努める。 ねらいを明確化した指導を行った上で、出てきた課題に対する自力解決の振り返りから生まれる児童の自己評価の充実を図る。 目的をもった学び合いから生まれる児童の相互評価の充実を図る。 |
| 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的充実 | ユニバーサルデザイン、合理的配慮 | 家庭・地域との連携 |
| <ul style="list-style-type: none"> 一人一台端末のデジタルドリルを活用しながら、児童の能力や特性に応じて学習を進める。 一人一台端末のコラボノートやスカイメニュー等の学習アプリを使用し、児童の考えを共有し、視覚的に表しながら学習を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> 人権教育推進校として一昨年度研究してきた実績と中野区子どもの権利に関する条例の理念を踏まえて、「自分と同じように相手を大切にする」児童を育成する。 合理的配慮(ユニバーサルデザイン)が提供された学級経営や授業づくりを実践し、多様な在り方を認め合う態度の育成に努める。 | <ul style="list-style-type: none"> 保護者、地域の人材や施設を活用したコミュニティ学習を行う。 家庭学習を習慣化するように働きかける。(漢字、計算練習や読書・日記、楽器練習等) 学校公開日、学校・学年・学級だより・ホームページ・メール等による情報発信をする。 |